

第1回
アシタシア
サロン

縮減時代の 新たな地域マネジメント

現代日本を代表する思想家・内田 樹氏が語るwith・afterコロナの地域論・教育論

人口減少社会に求められる地域像とは何か。越境(辺境)の価値とは何か。新型コロナウイルスで社会・地域構造はどのように変わるのか。地方大学に求められる地域的役割は何か。我が国を代表する思想家・内田樹先生が、時代の変化を読み解きます。

2020年 **10月2日(金)** 18:00~20:00

開催形式: WEB型セミナー (Zoom)

愛知大学では現在、入構自粛となっておりますが、措置解除となった場合は、会場(名古屋キャンパス)をご用意できる可能性があります。会場参加を希望される方は、申込み時に会場参加希望の欄にチェックをお願いします。会場をご用意できる場合は個別連絡をさせていただきます(メール限定)。希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。

参加費 **無料**

定員

WEB参加 500名
会場参加 150名※

※会場をご用意できた場合

申込

右のQRコードを読み取ると、下記URLのご案内サイトに移動します。サイトからZoomウェビナーの参加登録をしてご参加ください(メールアドレス必須)。



<http://asitasia.aichi-u.ac.jp/topics/salon1>

プログラム

開会あいさつ (18:00~18:05)

愛知大学学長 川井伸一氏

アシタシアサロン開催趣旨説明 (18:05~18:15)

愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行氏

講演 (18:15~19:45)

神戸女学院大学名誉教授 **内田 樹氏**

演題: 縮減時代の新たな地域マネジメント

質疑応答 (19:45~20:00)

講師紹介



撮影 松原卓也

内田 樹氏

神戸女学院大学名誉教授、京都精華大学人文学部客員教授。神戸市で武道と哲学のための学塾凱風館を主宰。専門はフランス現代思想。主著に『ためらいの倫理学』『レヴィナスと愛の現象学』など。『私家版・ユダヤ文化論』で第六回小林秀雄賞、『日本辺境論』で2010年度新書大賞受賞、活動全般について第三回伊丹十三賞を受賞。近著に『サル化する世界』『街場の日韓論』など。

アシタシアについて… 愛知大学は、平成30年より文部科学省私立大学研究ブランディング事業に採択され、「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」を研究テーマとした取り組みを進めています。越境地域マネジメントは、地域と地域、しくみとしくみ、人と人をつないで、持続可能な社会の形成を目指すものであり、豊橋校舎が立地する三遠南信地域と共に、名古屋校舎が立地するささしま地区がその拠点地区として位置づけられています。アシタシアは、ささしま地区に人々の出会い、発見の場を創出し、さまざまな境を越えていくことで、日本社会の明日、未来をつくることを目指すプロジェクトです。

大学入構自粛措置解除となった場合、ご用意できる会場は以下の通りです。会場参加を希望される方は、インターネット申込みの際に、会場参加希望の欄にチェックをお願いいたします。希望欄のチェックがない場合、入場をお断りすることがあります。

会場

愛知大学 名古屋キャンパス
グローバルコンベンションホール
(名古屋市中村区平池町4丁目6番6)

